

慶應義塾大学出版会

イチ押し

2020年5月新刊のご案内

経済書ご担当者さま

## 分断のアメリカ 二重経済のジレンマ(仮)

ピーター・テミン(マサチューセッツ工科大学経済学部名誉教授)[著] /

栗林寛幸(一橋大学経済研究所研究員)[訳] /

猪木武徳(大阪大学名誉教授)[解説]

本体予価 2,700円 四六判上製 / 320頁 ISBN 978-4-7664-2674-8 C3033

👉ココに注目!

- ・アメリカは、なぜ深刻な対立に陥ってしまったのか?
- ・富裕部門と貧困部門の固定化を経済モデルで明快に説明する!

トランプが大統領に選ばれたアメリカ社会の背景には、様々な根深い対立が存在するといわれている。それは単に人種、移民、ジェンダー差別のみならず、その現象を固定化する「二重経済」構造があった。金融・技術・ITを中心とする富裕部門と低賃金にあえぐ貧困部門の二極化である。アメリカ民主主義を支えた「中間層」の消滅がもたらした病巣を批判する。

📖 類書 ジョセフ・E・スティグリッツ『スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM』(東洋経済新報社)

### 営業部からのおすすめポイント

2/17付読売新聞1-2面の論説で、経済学者の猪木武徳氏が、米国大統領選に関する文章を寄せていますが、その中で本書(記事では「消えた中間層」)を大きく紹介し、米国社会の根深い分断に対するリベラル派の激しい怒りに驚いたと述べています。今年の米大統領選の背景を知るうえで不可欠の1冊です! (乙子)

📞 ご注文はFAXで! 03-3451-3124 📞

番線	ご注文部数	発行所: 慶應義塾大学出版会	本体予価	部数
新刊委託		ピーター・テミン 著 / 栗林寛幸 訳 / 猪木武徳 解説 分断のアメリカ 二重経済のジレンマ(仮) ISBN978-4-7664-2674-8 C3033	2,700円	★★★★★ ★★★★

★1つで「500部」を表します